

ミニコミュニティバス試行運行のダイヤ（案）

1. 平日の運行

案 A. 現行のダイヤ（運行本数・運行時間）をなるべく継承する

	メリット	デメリット	デメリットへの対策
市	○サービスレベルを維持できる⇒説明しやすく、理解を得られやすい（特に青柳・泉両ルート）	×経費の増加により、財政負担が増える ×車両の稼働時間が長くなるので、故障等の確率が上がる	・運賃収入を増加させる（料金を上げる、利用者数を増やす施策を打ち出す） ・ある程度の財政負担はやむなしと割り切る
利用者	○現くにつこと変わらず利用できる	×市の財政次第では存続できなくなる→将来的に交通不便に	

案 B. 朝夕を短縮し、青柳・泉は2ルートを運転手3人で運行（同一事業者の場合）できるようにする

	メリット	デメリット	デメリットへの対策
市	○サービスレベルを大幅に低下させずに経費を節減できる	×特に終バスが早まることへの不満が出てくる可能性がある	・路線バスとの役割分担を強調して市民理解を求める（あくまでミニコミバスは外出支援や交通不便の解消を目的としている等）
利用者	○事業の継続可能性が上がる	×朝早くや夜の便がなくなる→通勤・通学利用者が減る	

案 C. お昼を1本運休とし、1ルートにつき運転手1人で運行できるようにする

	メリット	デメリット	デメリットへの対策
市	○経費（人件費、燃料費）の削減になる	×今までよりもサービスレベルが落ちる	・長期的視点に立って、事業を持続させることを優先していると説明 ・ダイヤ以外のサービス面を拡充
利用者	○事業の継続可能性がより上がる	×1日の運行本数が少なくなる	

2. 土曜日の運行

案イ. 土曜日なし、平日のみの運行

	メリット	デメリット	デメリットへの対策
市	○経費（人件費、燃料費）の削減になる ○市職員が運行状況等を把握しやすい	×今までよりもサービスレベルが低下する	・長期的視点に立って、事業を持続させることを優先していると説明 ・状況を見て試行運行開始後に土曜日の運行を検討 ・ダイヤ以外のサービス面を拡充
利用者	○事業の継続可能性が上がる	×土曜日に外出したい場合（福祉会館など）に交通手段がなくなる	

案ロ. 土曜日も平日と同じダイヤで運行

	メリット	デメリット	デメリットへの対策
市	○経費（人件費、燃料費）の削減になる ○外出支援という福祉的側面では運行日数が多い方がよい	×経費（人件費、燃料費）が増える ×土曜日にトラブル等があった時に市職員が対応できない	・ダイヤやルートの変更による経費削減を検討 ・利用者が少なければ土曜日は縮小 or 廃止
利用者	○土曜日でも利用できる ○曜日によるダイヤの変更がないので混乱がない	×市の財政次第では存続できなくなる→将来的に交通不便に	

案ハ. 土曜日は昼間のみ運行

	メリット	デメリット	デメリットへの対策
市	○現状より大幅にサービスレベルを低下させずにすむ ○平日のみ運行の場合と比較して、それほど財政負担は増えない	×今までよりもサービスレベルが低下する	・費用対効果の面から、利用者の少ない朝夕を削り、経費削減と事業継続性を考慮していると説明 ・ダイヤ以外のサービス面を拡充
利用者	○土曜日でも利用できる	×土曜日だけダイヤが変わるので混乱する可能性がある ×土曜日の朝夕の交通手段がなくなる	